

会 議 名	平成28年度第2回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	平成28年7月29日（金曜日） 午後3時5分から午後3時45分まで
開 催 場 所	区役所4階庁議室
委 員	（出席者） 田中副区長（委員長）、渡邊総務部長（副委員長）、野上企画課長、金田区役所改革担当課長、湯川財政課長、森総務課長、中島契約管財課長 （欠席者）杉本企画経営部長（副委員長）
出席所管課長	亀田芝浦港南地区総合支所管理課長、茂木高齢者支援課長、増田保育担当課長
事 務 局	梅田企画担当係長、田中企画担当
会 議 次 第	1 開会 2 議題 （1）指定管理者の選定について ①虎ノ門高齢者在宅サービスセンター ②しばうら保育園分園 3 閉会
配 付 資 料	[席上配付] 資料1 指定管理者候補者選定調書（公募用） 資料1-2 指定管理者候補者選考委員会報告書 資料1-3 指定管理者応募者提案内容の比較表 資料1-4 職員配置表 資料1-5 選考委員会採点表 資料1-6 指定管理者指定申請書 資料1-7 選考委員会議事録 資料2 指定管理者候補者選定調書（非公募用） 資料2-2 指定管理者指定申請に対する審査表 資料2-3 職員配置表 資料2-4 指定管理者指定申請書
会議の結果及び主要な発言	

	<p>議題1 指定管理者の選定について</p> <p>①虎ノ門高齢者在宅サービスセンター</p> <p>(所管課長から指定管理者候補者選定調書等の説明)</p>
茂木高齢者支援課長 森委員	第二次審査の評定で委員長の評価が低いことについて、委員長から何かコメントされていますか。
茂木高齢者支援課長	第二次審査のプレゼンを受けた後、委員長からサービス提供については一定の考え方を持っており、一定のレベルで提供されると思いますし、安定感がありますとのコメントがありました。ただ、地域での専門職の関わりなど、今後の提案がちょっと薄かったのが残念ですとのことで、その意味からも厳しい評価をしましたという発言がありました。
森委員	議事録で「安定感があります、厳しい評価をしました」とありますが、委員長の意思表示が抜けていませんか。
茂木高齢者支援課長	委員長からご意見をいただき、事務局からも指定管理者が決定され、協定内容や予算等の話を行う中で、委員からのご意見などもしっかり伝えて、レベルアップしていくよう指導していくことを説明させていただいています。また、月1回実施している高齢者相談センターの連絡会で、他の施設、法人の取組も情報共有しながら、継続する中で、しっかりそうしたことができるように私たちもやっていきたいということでお話して、ご了解されているところです。
森委員	事務局のそうした提案があつて、最終的に委員長としても百葉の会でよいという意思表示があつたということですか。
茂木高齢者支援課長 委員長	最終的に全員のご了承をいただきまして、決定したところでございます。採点の関係で委員長の評価が、複合施設としての効果的な管理運営で低い評価になっていますが、何をもってそうした評価になっているのでしょうか。一次評価をあわせて、選考委員会でやりとりがあつたということでもよろしいですか。
事務局	委員長からご意見がありましたのは、計画書類の中では、百葉の会の法人としての方針とか、計画はよくわかるが、虎ノ門在宅サービスセンターとしてどうやっていくのかというところが見えづらいとのご意見はいただいております。
委員長	様式で提案を求めた内容はこういったものですか。
茂木高齢者支援課長	内容としましては、併設している虎ノ門いきいきプラザと共同して、安全面について、利用者の生きがいについて、地域とのつながりについて、こういった視点から今後の取り組みについて書いていただくという様式になってございます。
委員長	委員長から見たら、そうした点が十分でないとのことですか。それは、現場からの発想が弱いという趣旨でよろしいですか。
茂木高齢者支援課長 委員長	はい。 本部は考えているかもしれませんが、地域性も踏まえた現場としての自分たちの考えを提案すべきとの指摘をいただいた。所管としては、虎ノ門いきいきプラザや虎ノ門地域における役割をきちんと果たしてもらうため、しっかりと努力してもらうということを前提に決めたいという理解でよろしいですか。
茂木高齢者支援課長 委員長	はい、そのとおりでございます。 ではその点を確認して、所管でしっかりとそれを担保できるようにお願いします。

	<p>それでは、本件については医療法人百葉の会を指定管理候補者として了承します。 (結論)</p>
増田保育担当課長	②しばうら保育園分園
渡邊副委員長	(所管課長から指定管理者候補者選定調書等の説明)
増田保育担当課長	職員人件費の経年の伸び率は何%ぐらいですか。
野上委員	基本的には1%ほどですが、それ以外に処遇改善加算で5%ほどの伸びがあります。しばうら保育園分園は、当初、定員が16名で、0歳児が6人、1歳児が10人ですが、その後どのように推移していきますか。
増田保育担当課長	29年は0歳が6名、1歳が10名ですが、30年に2歳児を10名増やしまして、31年に3歳児を10名増やす計画となっております。こちらにつきましては、このまま分園の3歳児のお子さんが4歳児になったときに本園に入れるということを用意しておまして、4歳児の体制が本園で整うのが32年ですので、そちらに合わせてこのような計画とさせていただいております。
野上委員	本園と分園の行き来のことですが、安全対策を教えてください。
亀田芝浦港南地区管理課長	オープンした公園の通路を通っても行けますので、道路を通るのは信号のところぐらいですので、特に心配することはないと思います。
野上委員	分園長と本園長の指示命令系統は、本園施設長の指示・管理のもと、分園長なり、本園の副園長とのピラミッド型の指示系統はしっかり維持できることは確認されているということよろしいですか。
増田保育担当課長	はい。
湯川委員	経費の質問で、今回、分園は0歳から3歳までの運営ですが、仮に分園という形ではなく、単独園としてこの規模のものを指定管理で運営する場合と、今回のような分園とした場合、経費の差など特徴的なところがあれば教えてください。
増田保育担当課長	基本的な運営でも、分園と本園で合同実施するものについては、基本経費は本園に計上されているので、今回は分園の子供さんが増えた部分だけで済むことを考えると、効率的な運営ができると思っております。
亀田芝浦港南地区管理課長	例えば単独であれば栄養士の配置が必要かもしれませんが、今回は栄養士、調理師と含めて配置できることになります。また、緊急事態が起きた場合に、本園と分園のフリーの保育士がいますので、その部分でもメリットが出てくると思います。
湯川委員	経費で例えば何%ぐらい割引かかっているとか、そういったことはわかりますか。
亀田芝浦港南地区管理課長	基本的な開設時間が夜10時までの前提で最大限の積算が上がってきております。これから少し精査をしていく段階に入りますが、今の段階で何%と明確にお答えすることは難しいですが、職員体制は行き来することで、ある程度落とせませし、人件費部分についても少し経費が落とせると思っています。
渡邊副委員長	資料2-3と資料2-4の職員の配置表において、資料2-3の栄養士1名は、資料2-4には記載がありません。これは調理員に栄養士の数に含まれているということですか。
亀田芝浦港南地区管理課長	資料2-4では調理員の中で見えています。資料2-3は栄養士という記載になっておりますけれども、実際は調理員と合わせて考えてございます。

渡邊副委員長 亀田芝浦港南地区管理課長	そうすると、その栄養士は専属で分園につくことになりますか。 栄養士は本園の栄養士が担当する予定であります。
渡邊副委員長 亀田芝浦港南地区管理課長	そうすると、資料は訂正する必要があるということですか。 はい。
委員長	資料2-3のクラス別保育士配置で、分園長は置くことを明言していますので問題ないと思いますが、実際、0歳児、1歳児で分園長を含め5名で対応することになります。障がい児対応があるかないかによって違いがありますが、ここは若干余裕の部分として、フリー対応、保育補助とありますが、こうした対応人員は本園では何名くらいいますか。
増田保育担当課長 委員長	平成28年度において、フリーは4名います。 それは、場合によっては分園対応ということもありますか。
増田保育担当課長 亀田芝浦港南地区管理課長	はい。 先ほど申し上げたとおり、夜10時までの対応を必要とする子供が定員いっぱいまでいることを想定しておりますので、実際の申し込み人数により、フリー対応を含めた人数は未確定で、提案時には最大の人数を想定しています。
委員長	そのあたりの前提条件は明確にしておいてください。職員数は基準配置数4名に対して10名となっており、収支計画にもあらわれてきますので、分園であるが故に弾力性を持たせるため、実際の状況ではないということを明記しておいてください。
亀田芝浦港南地区管理課長 委員長	最大値であって実際は異なることを明記します。 単純に職員人件費を10名で割ったら一人当たり680万円で、定員16人に対して経費が8,800万円と見てとれますので、一定の柔軟対応や不確実な部分も全て含めた上限という説明を入れておいてください。
増田保育担当課長 委員長	はい。 行政コストは決算額では、0歳児はどのくらいになりますか。
湯川委員 委員長	1人当たり、230万円ぐらいです。 行政コスト×16人であればまだしも、0歳、1歳であることを考慮に入れた範囲であることや、分園の特殊な事情を話ができるようにしておいてください。
増田保育担当課長 委員長	はい。 保育園分園の住所、定員数、対象は0、1、2、3歳児であること、平成29年4月に0、1歳児の定員16人でスタートし、平成30年、31年度の予定などがわかるように説明を入れておいてください。
増田保育担当課長 野上委員	はい。 資料2-4の資金・収支計画書で、分園の前年度との増減理由が新年度準備費となっておりますが、新年度準備費で年々上がっていくことは考えられないので記載ミスだと思いますので修正しておいてください。
増田保育担当課長 委員長	ありがとうございます。 光熱水費や施設管理費は、分園はパーク芝浦にあるため、区が一括で支払うのでゼロとなっているということですか。
増田保育担当課長 委員長	はい。 そこは、本来であれば支払は区の代行者として指定管理者が果たすべき役割ですの

	で、厳しい見方をすれば、事務費はカットされるべきです。そうした交渉はしていますか。
亀田芝浦港南地区管理課長 委員長	交渉はしております。 金額は少ないかもしれませんが、施設の管理、運営を代行するが故に指定管理という制度を使っていますから、そこは整理をしておく必要があります。
亀田芝浦港南地区管理課長 委員長	はい。 パーク芝浦の他の施設を含めて区が一括で支払っていると、指定管理者はあまり意識することなく、無駄使いすることがありませんか。
亀田芝浦港南地区管理課長 委員長	定期的に関係施設を集めて、エネルギーに関する会議を行っていますので、その中できちんと数字を出してチェックしています。 施設の特性を踏まえた管理、運営をせざるを得ないことから、本来は指定管理者が実施すべきことですので、管理運営にかかる人件費分を差し引く必要があるといった視点で見ておいてください。
亀田芝浦港南地区管理課長 委員長	わかりました。 子供たちの選考はどうなりますか。分園の希望、本園の希望、それともしばうら保育園を希望することになりますか。
増田保育担当課長 委員長	しばうら保育園の本園と分園でそれぞれ枠を設けますので、それぞれの希望に沿って入園審査を行います。 そうすると、第一希望が分園、第2希望が本園ということもあり得えますか。
増田保育担当課長 委員長	はい。 本園、分園を一体として受け付けるわけにはいかないということですか。
増田保育担当課長 亀田芝浦港南地区管理課長 中島委員	はい。 多少なりとも場所が違いますので、本園、分園を一体で希望というのは難しいです。 そうすると、兄弟枠は本園に上の子がいると、優先的に本園になりますか。
増田保育担当課長 中島委員	そうです。 1つ気になった点として、分園は職員数10人ということもあり、これから募集をかけると思いますが、本園を見ると経験年数的には5年以上の人が15名おり、経験年数のアンバランスが本園と分園で出てくることが予想されますが、そういったところの本園、分園のバランスを保つ工夫は考えられていますか。
増田保育担当課長 委員長	目標は本園と同じような形で進めていくことは確認しておりますので、現状としてはこういった予定で書かせていただいています。本園に合わせていきたいと思えます。 では条例審議の関係については、きちんと説明できるようによろしくお願いします。それでは、本件については ShoPro-Taihei 共同事業グループを指定管理候補者として了承します。(結論)
	以上で平成28年度第2回港区指定管理者選定委員会を終了します。